



# 夢の図書館

The you-me-no library news

1月号

令和5年1月1日発行（第233号）

編纂 夢野台高校図書委員会

皆さん、こんにちは！

本格的な冬になり、とても寒くなりました。冬休みは有意義に過ごすことはできましたか？この学年で過ごすのも、残り少なくなってきましたね。いよいよ3学期が始まります。学年が上がり、勉強も難しくなっていき、本を読む機会がだんだん減ってくる人もいると思います。勉強も大事ですが、息抜きに図書館へ本を読みに来ませんか？

図書館には、勉強に役立つ本もありますが、隙間時間に読める短い本もあるので勉強の合間に本で気分転換してみたらどうでしょう。

その扉をたたく音 瀬尾 まいこ



29歳、無職。ミュージシャンへの夢を捨てきれないまま、怠惰な日々を送っていた宮路は、ある日、利用者向けの余興に訪れた老人ホームで、神がかったサックスの演奏を耳にする。音色の主は、ホームの介護士・渡部だった。「神様」に出会った興奮に突き動かされた宮路はホームに通い始め、やがて入居者とも親しくなっていく。

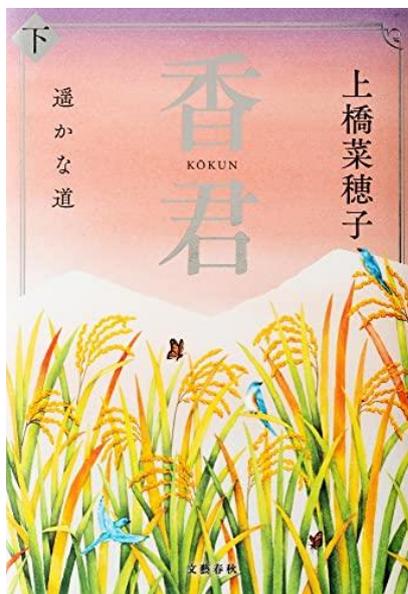
人生の行き止まりで立ちすくんでいる青年と、人生の最終コーナーに差し掛かった大人たちが奏でる感動長編。



香君 上      上橋 菜穂子

遙か昔、〈神郷〉から降臨した初代〈香君〉が携えてきたとされる奇跡の稲〈オアレ稲〉の力によって、多くの国を従え、繁栄を誇って来たウマル帝国。その属国〈西カンタル藩王国〉の藩王の孫、15歳の少女アイシャは人並外れた嗅覚を持ち、植物や昆虫たちが香りで行っているコミュニケーションを〈香りの声〉のように感じながら生きていた。

いつも風の中に感じている、そんな少女の物語です。



香君 下      上橋 菜穂子

飢えの雲、天を覆い、地は枯れ果て、人の口に入るものなし。かつて皇祖が口にしたというその言葉が現実のものとなり、次々と災いの連鎖が起きていくなかで、アイシャは、仲間たちとともに、必死に飢餓を回避しようとするのだが……。オアレ稲の呼び声、それに応えて飛来するもの。異郷から風が吹くとき、アイシャたちの運命は大きく動きはじめる。

圧倒的な世界観と文章で我々に迫る物語は完結へ。



ナイフ      重松 清

「悪いんだけど、死んでくれない？」ある日突然、クラスメイト全員が敵になる。僕たちの世界は、かくももろいものなのか！

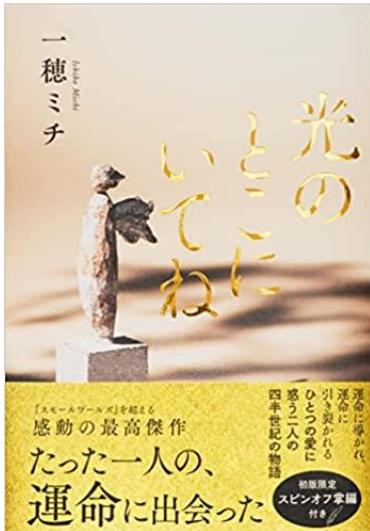
幹はワニがいるはずの池を、ぼんやりと眺めた。ダイスケは辛さのあまり、教室で吐いた。子供を守れない不甲斐なさに、父はナイフをぎゅっと握りしめた。失われた小さな幸福はきっと取り戻せる。その闘いは、決して甘くはないけれど。

傷ついても、踏まれても、きみは一人じゃない。

第 168 回 直木賞候補

光のところにいてね

一穂 ミチ



たった 1 人の、運命に出会った。古びた団地の片隅で、彼女と出会った。彼女と私は、なにもかもが違った。着るものも食べるものも住む世界も。でもなぜか、彼女が笑うと、私も笑顔になれた。彼女が泣くと、私も悲しくなった。彼女に惹かれたその日から、残酷な現実も平気だと思えた。ずっと一緒にはいられないと分かっているながら、一瞬の幸せが、永遠となることを祈った。

どうして彼女しかダメなんだろう。どうして彼女とじゃないと、私は幸せじゃないんだろう…。

地図と拳

小川 哲



「君は満洲という白紙の地図に、夢を書きこむ」日本からの密偵に帯同し、通訳として満洲に渡った細川ロシアの鉄道網拡大のために派遣された神父クラスニコフ。叔父にだまされ不毛の土地へと移住した孫悟空。地図に描かれた存在しない島を探し、海を渡った須野…。奉天の東にある〈李家鎮〉へと呼び寄せられた男たち。「燃える土」をめぐり、殺戮の半世紀を生きる。

ひとつの都市が現われ、そして消えた。日露戦争前夜から第 2 次大戦までの半世紀、満洲の名もない都市で繰り返される知略と殺戮。日本 SF 界の新星が放つ、歴史×空想小説。運命に導かれ、運命に引き裂かれる。

ひとつの愛に惑う二人の、四半世紀の物語

【第 13 回山田風太郎賞受賞作】

直木賞候補

作品名	作家
光のところにいてね	一穂ミチ
地図と拳	小川哲
クロコダイル・ティアーズ	雫井脩介
しろがねの葉	千早茜
汝、星のごとく	凧良ゆう

芥川賞候補

作品名	作家
ジャクソンひとり	安堂ホセ
この世の喜びよ	井戸川射子
開墾地	グレゴリー・ケズナジェット
荒地の家族	佐藤厚志
グレイスレス	鈴木涼美



## ★2022年12月新着図書を紹介（寄贈も含む）★

書名	著者名	出版社
世界の歴史 1／人類誕生と古代の王国：七〇〇万年前～紀元前六〇〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 2／古代社会と思想家たち：紀元前六〇〇～紀元元年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 3／秦・漢とローマ-古代の大帝国： 紀元前二〇〇～紀元後四〇〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 4／唐・シルク=ロードとイスラーム教の発展 ：四〇〇～八〇〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 5／宗教が支える社会：八〇〇～一二〇〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 6／モンゴル帝国と東西交流：一二〇〇～一四〇〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 7／ひとつながりになる世界：一四〇〇～一六〇〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 8／変化するユーラシア諸帝国：一五五〇～一七二〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 9／ヨーロッパの世界進出：一六〇〇～一七九〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 10／革命が世界を変える：一七五〇～一八五〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 11／ヨーロッパの自由主義とアジアの動揺 ：一八三〇～一八六〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 12／ヨーロッパ再編とアメリカの台頭：一八六〇～一八九〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 13／帝国主義と抵抗する人々：一八九〇～一九一〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 14／第一次世界大戦とアジアの動向： 一九〇〇～一九一九年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 15／世界恐慌と民族運動：一九一九～一九三九年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 16／第二次世界大戦：一九三九～一九四五年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 17／第二次世界大戦後の国際関係：一九四五～一九五五年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 18／冷戦と超大国の動揺：一九五五～一九八〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 19／冷戦の終結と民主化運動：一九八〇～一九九〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 20／現代文明とグローバル化：一九九〇～二〇二〇年	羽田正	KADOKAWA
世界の歴史 別巻／まるわかり地域史	羽田正	KADOKAWA
祝祭と予感	恩田陸	幻冬舎

